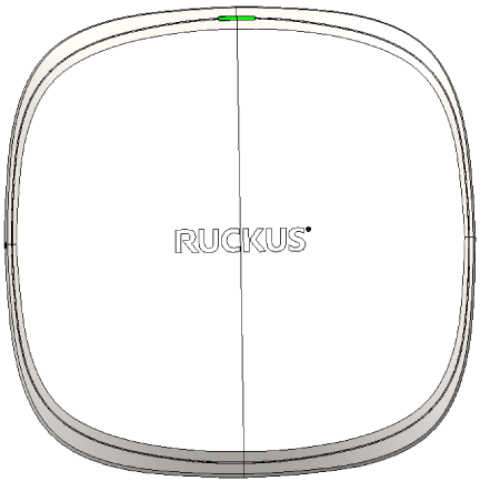
R770 アクセス ポイント クイック セットアップ ガイド

本「クイック セットアップ ガイド」には、RUCKUS R770 トライバンド 802.11be Wi-Fi 7 屋内 Wi-Fi アクセス ポイント (AP) を設置して使用し始めるための手順が詳しく記載されています。

注意: R770 AP を動作させるには、SmartZone (SZ) 7.0 以降のソフトウェア バージョンが必要となります。

図 1 R770 アクセス ポイント: 上面図



本ガイドの他言語版

- 请从以下网站获得该指南的简体中文版 http://docs.commscope.com/?docs-box。
- Vous trouverez la version française de ce guide à l'adresse suivante http://docs.commscope.com/?docs-box.
- このガイドの日本語版は http://docs.commscope.com/?docs-box でご覧ください。
- 이 가이드의 한국어 버전은 웹 사이트 (http://docs.commscope.com/?docs-box) 에서 확인하시기 바랍니다.
- Veja a versão em português (Brasil) deste guia em http://docs.commscope.com/?docs-box
- Puede ver la versión en español (América Latina) de esta guía en http://docs.commscope.com/?docs-box

はじめる前に

RUCKUS 製品を導入する前に、最新版のソフトウェアとリリース文書がそろっていることをご確認ください。

- リリースノートおよびその他の文書は、以下に掲載してあります。http://support.ruckuswireless.com/documents
- ソフトウェア アップグレードは、以下にて可能です。http://support.ruckuswireless.com/software
- ソフトウェア ライセンスおよび制限保証の情報については、以下をご確認ください。http://support.ruckuswireless.com/warranty

6.0-GHz AP 用の RUCKUS WLAN 構成

6.0-GHz WLAN を構成する場合は、https://support.ruckuswireless.com/documents/4017 をダウンロードして参照してください。

パッケージの中身

R770 取り付け用パッケージには、以下の一覧に記載されているすべてのアイテムが含まれています:

- R770 アクセス ポイント
- T レール取り付け用ブラケット　1 個
- T レール取り付け用クリップ 4 個
- AP 取り付けキット一式
- 適合宣言書/規制に関するパンフレット

必要なハードウェア

- 管理用 PC (イーサネット ポートと Wi-Fi アダプターが搭載されているコンピュータ)
- CAT 6 (またはそれより上位の) イーサネット ケーブル
- RUCKUS Wireless 48 VDC 電源アダプター (902-1170-XX00) (別売り) または

  802.3at/bt 準拠の Power over Ethernet (PoE) スイッチまたは PoE インジェクター (902-1180-XX00)

オプションのハードウェアとツール:

- RUCKUS Wireless セキュア取り付け用ブラケット キット (ユーザー注文、部品番号 902-0120-0000):
  - セキュア取り付け用ブラケット キットを使用して AP を平らな面に取り付ける場合は、4.75mm (3/16 インチ) ドリル ビットの電気ドリルが必要です。
  - セキュア取り付け用ブラケット キットを使用して AP をパイプまたは柱に取り付ける場合は、38.1mm ~ 63.5mm (1.5 インチ ~ 2.5 インチ) のパイプまたは柱、同梱のステンレス スチール製クランプ 2 個、およびクランプを締めるためのハンド ツールも必要です。

ステップ 1: コンピューターを AP に接続する

1. DC で給電している場合は、コンピューターのネットワーク ポートを、AP の PoE ポートに接続します。図 2 を参照してください。
2. DC 電源アダプターの DC ケーブルを手近な保護された電源に接続します。DC 電源アダプターの DC 出力ケーブルを AP の 48VDC ポートに接続します。

注意: あるいは、AE PoE ポートを PoE インジェクターまたはスイッチと接続すれば、電源供給とネットワーク接続を同時に行うことができます。コンピューターのネットワーク ポートを PoE インジェクターのデータ ポートまたはスイッチの別のポートにそれぞれ接続します。

注意: 一般的に、スイッチのリンク レイヤー検出プロトコル (LLDP) を有効にしておく必要があります。R770 AP がフルパワー モードで動作するためには、PoE スイッチ ポートで LLDP と PoE/MDI (BT6) を実行する必要があります。

注意: AP を 802.3at PoE で給電している場合は、利用できる機能が少なくなります。最新の製品データ シートについては、https://www.ruckusnetworks.com/products/wireless-access-points/ をご確認ください。

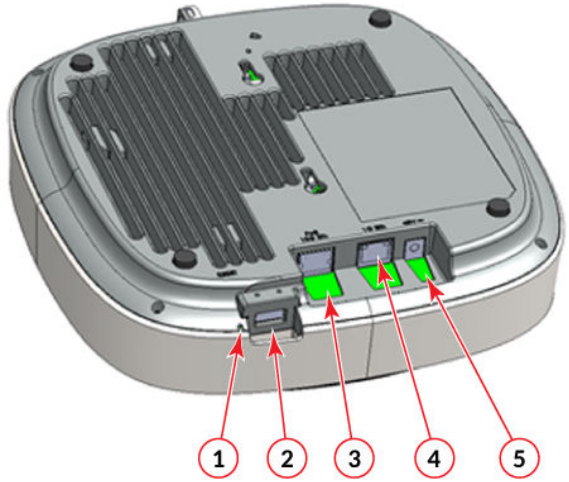
あるいは、コンピューターと AP を以下の方法で PoE スイッチに接続しても構いません。

a) AP をスイッチ ポートに接続します。

b) コンピューターを別のスイッチ ポートに接続し、IP アドレスを手動で割り当て、AP を構成します。

3. AP の PWR LED ランプが常時緑色に点灯していることを確認します。

図 2 下部パネルの R770 AP ポート



© 2023 CommScope, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
出版 December 2023、部品番号 800-73222-009 Rev C

表 1 R770 AP ポート

番号	ラベル	説明
1	リセット	細い針などを使用してリセット ボタンを押します。 • ソフトリセット: 5 秒未満の長押し • 工場リセット: 5 秒以上 15 秒未満の長押し • 工場出荷時既定のリカバリ モード: 15 秒以上の長押し
2	USB	USB ポート • 45.72 mm (長さ) x 20.32 mm (幅) x 10.8 mm (厚さ) • インターフェイス: USB 2.0 • コネクター: USB – Type-A プラグ
3	10G ETH PoE	100/1000/2500/5000/10000 Mbps PoE 入力ポート: RJ-45 イーサネット ポート (802.3bt PoE 対応)
4	1G ETH	10/100/1000 Mbps ポート: RJ-45 イーサネット ポート (非 PoE)
5	48 VDC	48 VDC 入力

注意: AP は起動時の移行中に af モードに入ります。

LED 信号

AP の LED はステータスによって色が変わり、AP のさまざまなステータスがわかるようになっています。以下の表は、AP の LED の各色についてのおおまかな説明の一覧です。

表 2 R770 LED 信号

色	説明
赤	AP は給電されており、ファームウェアが起動中です。赤と別の色が交互に点灯する場合、AP は工場出荷時の状態にリセットされている最中です。
黄	AP でソフトウェア サービスが起動中です。このソフトウェア サービスには、コントローラーの読み込み、および新規構成やファームウェア更新の読み込みが含まれます。この色が、ネットワーク ゲートウェイまたはコントローラーに問題があることを示す場合もあります。
緑	AP でソフトウェア サービスの起動が完了しました。接続やコントローラー管理の問題はありません。

AP ステータスの詳細については、以下の AP LED 説明ドキュメントを参照してください。https://support.ruckuswireless.com/documents/4490.

ステップ 2: AP のセットアップのためにコンピューターを準備をする

注意: 以下の手順は、オペレーティング システムが Windows であることを想定したものです。他のオペレーティング システムの場合も手順はほぼ同じです。

1. Windows PC より、**スタート** > **コントロール パネル** > **ネットワークと共有センター** > **アダプターの設定の変更** に移動し、ローカル エリア接続の設定からネットワーク アダプターを構成します。
2. **ローカル エリア接続** > **プロパティ** > **インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)** > **プロパティ** に移動し、TCP/IPv4 アドレスの設定を編集します。

   インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のダイアログ ボックスが表示されます。

   注意: 後で (この作業終了後) コンピューターの設定を元に戻せるように、現在有効になっている設定をすべて書き留めておいてください。

3. **次の IP アドレスを使う**を選択し、(または、既に選択されている場合には) 以下の入力を行います。
   - **IP アドレス**：192.168.0.22 (または 192.168.0.x ネットワークの任意のアドレス。ただし、192.168.0.1 を除く)
   - **サブネット マスク**：255.255.255.0
   - **デフォルト ゲートウェイ**：192.168.0.1

   DNS サーバーの欄は空白のままにしておきます。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。変更は即座に反映されます。

ステップ 3: AP にログインする

注意: イーサーネット ポートを経由して管理 PC を AP に直接接続し、電源を入れて、セットアップの準備をしておく必要があります。

1. コンピューターで、WEB ブラウザーのウィンドウを開きます。
2. ブラウザー のナビゲーション バーに、次の URL を入力します。

   https://192.168.0.1
3. **Enter** キーを押して接続を開始させます。セキュリティ警告のダイアログ ボックスが表示された場合には、**OK/Yes** をクリックして進みます。
4. **RUCKUS Admin** ログイン ページが表示されたら、以下の情報を入力します。
   - **Username**： super
   - **Password**： sp-admin
5. **Login** をクリックします。最初のログインで、デフォルトのパスワードを変更するようにとのメッセージが表示されます。
6. **Change Password** (パスワードの変更) ログイン ページが表示されたら、以下の情報を入力します。
   - **New Password** (新しいパスワード): 新しいパスワードを入力します。
   - **Confirm Password** (パスワードの確認): 新しいパスワードをもう一度入力します。
7. **Submit** (送信) をクリックします。
8. 新しいパスワードを使用してログインします。

ステップ 4: ワイヤレス設定をカスタマイズする

6-GHz の構成は CLI でのみサポートされます。6.0-GHz AP 用の RUCKUS WLAN 構成 (1 ページ) を参照してください。

表 3 AP のデフォルト設定 (参考)

設定	帯域	WLAN 名	デフォルトの SSID 名
ネットワーク名 (SSID)	2.4G	wlan0 - 7	Wireless1 - Wireless8
	5G	wlan8 - 15	Wireless9 - Wireless16
	6G	wlan16 - wlan23	Wireless17 - Wireless24
セキュリティ (暗号化方法)	2.4G	WEP、WPA2、WPA+WPA2	
	5G	WEP、WPA2、WPA+WPA2	
	6G	WPA3 (OWE、SAE)	
デフォルトの管理 IP アドレス	192.168.0.1		

注意: デフォルトでは、スタンドアロン AP での IoT 無線は無効となっています。有効にするには、RUCKUS IoT Controller で AP を構成する必要があります。

1. Web インターフェイス メニューの **Configuration** > **Radio 2.4G** または **Configuration** > **Radio 5G** をクリックします。

   Configure > Wireless > Common ページが表示されます。

   注意: 6.0-GHz オプションの構成には CLI コマンドのみ使用可能です。GUI ではこのオプションはサポートされていません。詳細については、6.0-GHz AP 用の RUCKUS WLAN 構成 (1 ページ) を参照してください。

2. 以下の項目が有効になっていることを確認します。

   Channel：SmartSelect

   Country Code：現在の場所が米国以外の場合には、その場所の国コードを選択してください。
3. 設定を変更した場合、**Update Settings** をクリックします。
4. ページ上部の **Wireless #** (Wireless LAN Number) タブのいずれかをクリックします。
5. **Wireless Availability** の **Enabled** をクリックします。
6. **SSID** フィールドのテキストを削除し、ユーザーがワイヤレス ネットワーク アプリケーションでこの AP を認識出来るように、新たにネットワークの名称を入力してください。

© 2023 CommScope, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
出版 December 2023、部品番号 800-73222-009 Rev C

7. **Update Settings** をクリックして変更を保存します。
8. 有効にする **Wireless #** (Wireless LAN Number) インターフェイスそれぞれに対して、この手順を繰り返し実行します。
9. **Logout** をクリックして Web インターフェイスを閉じます。
10. **Ruckus Admin** ログイン ページが表示されたら、ブラウザーを閉じてください。
11. コンピューターと電源から AP を取り外し、コンピューターを元のネットワーク接続構成に戻します。

ステップ 5: AP を施設内に設置する

1. AP を、所定の設置場所 (電源およびネットワークへの接続が可能な場所) へ移動させます。取り付け方法の説明については、取り付け方法 (3 ページ) を参照してください。
2. イーサーネット ケーブルを使用し、PoE ポートを次の適切なデバイスに接続します。
   - インターネット サービス プロバイダーまたは通信事業者のネットワーク デバイス
   - インターネット サービス プロバイダーまたは通信事業者のネットワーク デバイスと接続されたイーサーネット スイッチ
3. AP 電源アダプター (または PoE 電源) を AP に接続し、電源に接続します。

   注意: PoE を使用する場合、AP を PoE スイッチまたは PoE インジェクターに接続するための Cat 6 (またはそれ以上) のイーサネット· ケーブルが必要です。10-Gbps を完全にサポートするには、Cat 6A イーサネット ケーブルを使用します。

4. PoE ポートの LED ランプが点灯していることを確認します。
   インターネット接続が再度確立されるまでの少し時間を置いた後に AP をテストします。

ステップ 6: 設置を確認する

1. ワイヤレス機能のあるコンピューターまたはモバイル デバイスを使用し、前述で設定したワイヤレス ネットワークを探して選択します。
2. 接続したらブラウザを開き、一般 Web サイトに接続します。

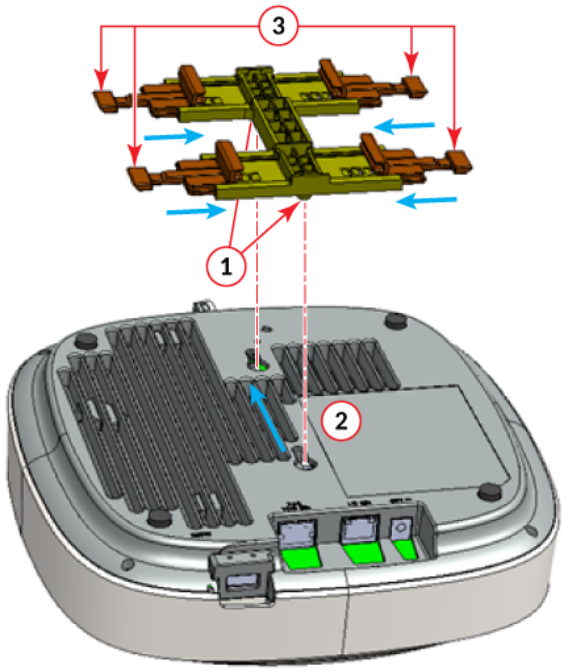
取り付け方法

吊り天井 T レールへの取り付け

付属の T レール取り付け用アセンブリ キットを使用すると、埋め込み式の平らな吊り天井の T レールに AP を取り付けることができます。

1. T レール ブラケット (図 3 の 1) の底部にあるスタッドを AP カバー上の鍵穴に入れます。
2. T レール ブラケットを AP 底面のイーサネット ポートと逆の方向にスライドさせ、AP 固定つまみが正しい位置に入り、T レール ブラケットのスタッドが鍵穴 (図 3 の 2) に掛かった状態にします。

図 3 AP への T レール ブラケットの取り付け



1. スタッド
2. 鍵穴
3. 固定つまみ

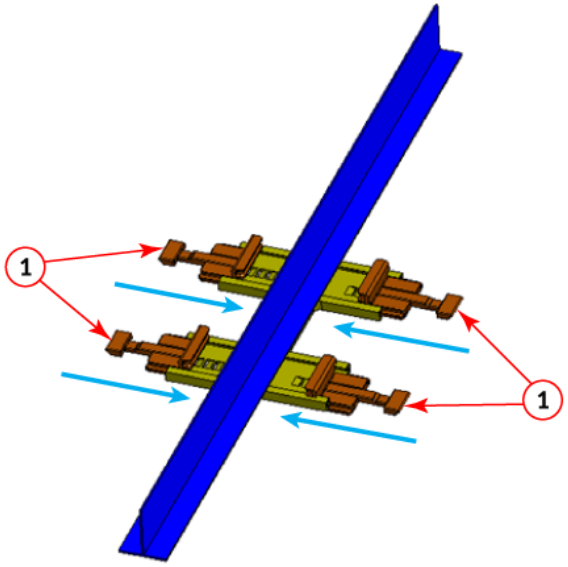
3. 固定つまみ (図 3 の 3) が T レール ブラケットの最初の位置になるように挿入します。
4. 天井タイル (ある場合) をそっと押し上げて外します。
5. T レール ブラケットをはめ、2 つの留め金が T レール片方の端 (図 4 の 1) に掛かるようにします。必ず両方の留め金が T レールに掛かっているようにします。

   注意: ブラケット本体の中心線が T レールの中心線と揃っていることを確認します。

6. AP を正しい位置に保持し、固定つまみ (図 4 の 1) を、留め金が T レールのもう一方の端に掛かるまでそっと押します。4 つの留め金のすべてが T レールに掛かっている必要があります。

© 2023 CommScope, Inc. 無断複写· 転載を禁じます。
出版 December 2023、部品番号 800-73222-009 Rev C

図 4 T レールへの T レール ブラケットの取り付け



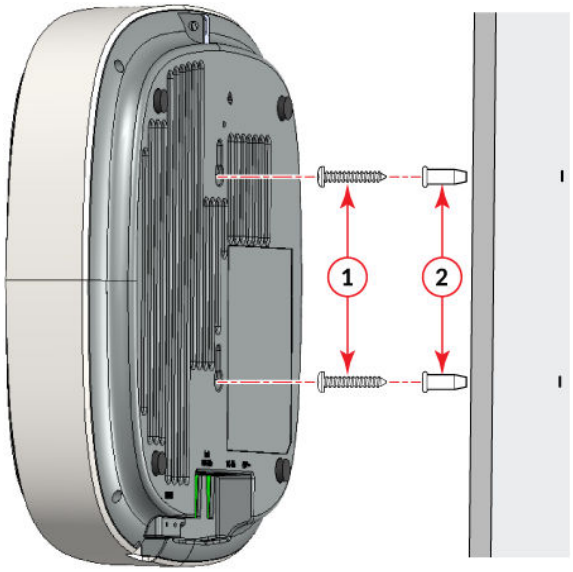
1. 固定つまみ

平面への取り付け

出荷時に同梱の取り付けネジとプラスチックのウォールアンカーで、AP を壁その他の平面に取り付けることができます。

1. 本クイック セットアップ ガイドの最後のページにあるマウント テンプレートを使用して、取り付け面の 2 つの穴をあける場所に印を付けます。
2. 4.75mm (3/16 インチ) のドリル ビットを使用して、取り付け面に深さ約 25 mm (1 インチ) の穴をあけます。
3. 出荷時に同梱のアンカー (図 5 の 2) と取り付けネジ (図 5 の 1) を取り付け面に挿入します。その際に、AP カバーを掛けられるようにネジ頭の約 6 mm (0.25 インチ) を突き出た状態で残しておきます。

図 5 平面への取り付け



1. ネジ
2. アンカー

4. AP を、ネジ頭が AP カバー上のキーホールに入るように、取付ネジの上に乗せ、AP 固定タブが正しい位置にカチッと入るまで AP を押し下げます。

注意事項

注意事項は、機器を破損する恐れのある潜在的危険について注意を喚起するものです。

注意! 機器は、立入禁止区域に設置することを意図しています。

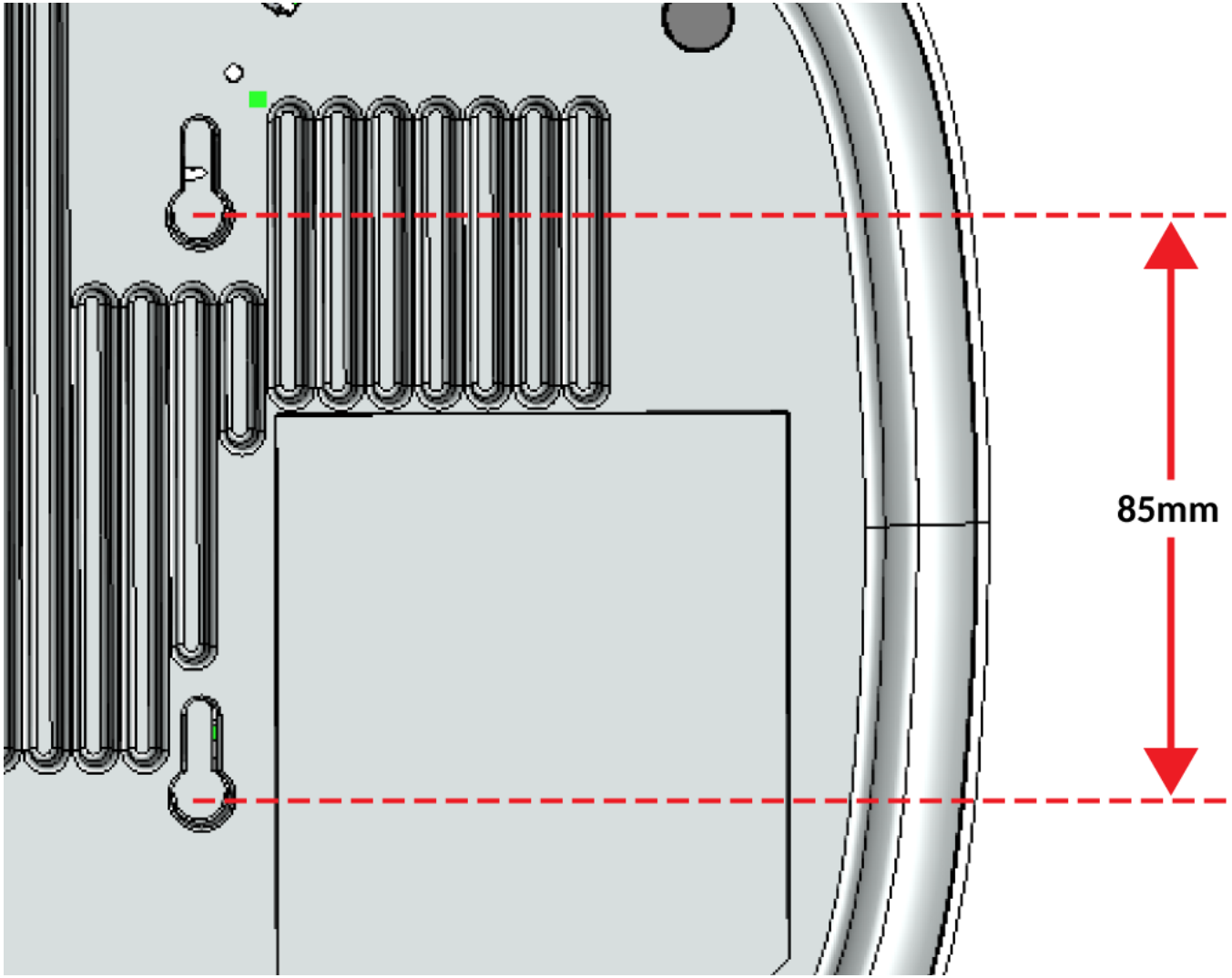
注意! 本機器は、屋外プラントを経由することなく PoE ネットワークに接続できます。

補足

AP を設定および管理する方法の詳細については、http://docs.commscope.com/?docs-box に用意されている『*RUCKUS 屋内アクセス ポイント ユーザー ガイド*』を参照してください。

© 2023, CommScope, Inc. All rights reserved.

CommScope および CommScope の口ゴは、米国およびその他の国における CommScope および/またはその関連会社の登録商標です。商標に関するその他の情報については、https://www.commscope.com/trademarks を参照してください。この文書に記載されているすべての製品名、商標、登録商標は、各所有者の資産です。



© 2023 CommScope, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
出版 December 2023、部品番号 800-73222-009 Rev C